

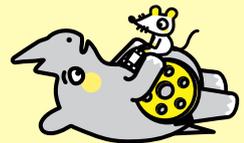
第32回しまね映画祭テーマ映画オープニング上映

東日本大震災 気仙沼のいま

ただいま、つなかん



宮城県気仙沼市唐桑半島
3・11からコロナ禍まで
たくさん笑って たくさん泣いて
こころを紡ぐ 民宿「つなかん」の物語



語り: 渡辺 謙 | 監督: 風間研一 | 音楽: 岡本優子
ゼネラルプロデューサー: 菅藤隆平 | プロデューサー: 柴崎木緒子 | 編集: 井上秀明 | 配給宣伝協力: ウッキー・プロダクション | 宣伝協力: リガード
製作著作: 文化工房 | 2023年 | 115分 | 16:9 | カラー | DCP | 日本 | ドキュメンタリー ©2023 bunkakobo
<https://tuna-kan.com>



第32回 しまね映画祭共催

第126回さんびるシアター ドキュメンタリー『ただいま、つなかん』

10時回 錦織良成監督上映前挨拶あり

10:00 / 14:00 開演

R5.9.23(土)

上映日時

料金

一般 当日 1,200円 前売 (1,000円)
小中高生 500円 (当日前売共通)

会場

松江テルサ
7F ドームシアター

震災によって生まれた「絆」のその先には 誰かが誰かを思う気持ちが溢れていました。

宮城県気仙沼市唐桑半島 鮪立(しびたち)。
美しい入江を見下ろす高台に民宿「唐桑御殿
つなかん」があります。100年続く牡蠣の養殖業
を営む菅野和享さんと一代さん夫妻は、東日本
大震災当時、津波により浸水した自宅を補修し、
学生ボランティアの拠点として開放、半年間で延べ500人を
受け入れてきました。若者たちに「つなかん」と呼ばれたその場所は
夫妻の「皆がいつでも帰ってこられるように」との思いから、
2013年の秋に民宿に生まれ変わります。女将となった一代さんは、
自慢の牡蠣やワカメを振る舞い、土地の魅力を自ら発信。そんな
「つなかん」に引き寄せられるかのように、次々この地に移り住む
元ボランティアの若者たち。彼らは海を豊かにする森を育てたり
漁師のための早朝食堂を営んだり、移住者のサポート体制を
整えたりと、地域に根ざしたまちづくりに取り組み始めます。
いつしか若き移住者たちは新しい命を授かり、地域を担う
立場となっていきます。そして、コロナ禍による民宿存続の危機の
中で迎えた2021年3月11日。震災から10年という節目を機に、
一代さんは大きな一歩を踏み出そうとしていました。

宮城県気仙沼市唐桑半島

3.11からコロナ禍まで

民宿つなかん



たくさん笑って

たくさん泣いて

こころを紡ぐ

民宿「つなかん」の物語



ただいま、つなかん

語り：渡辺 謙

監督：風間研一 | 音楽：岡本優子

ゼネラルプロデューサー：齋藤 隆平 プロデューサー：柴崎 木綿子 編集：井上 秀明
配給宣伝協力：ウッキー・プロダクション 宣伝協力：リガード 製作著作：文化工房
2023年 | 115分 | 16:9 | カラー | DCP | 日本 | ドキュメンタリー

©2023 bunkakobo

- 第126回さんびるシアター ドキュメンタリー『ただいま、つなかん』（第32回 しまね映画祭共催・テーマ映画）
- 日時：R5年9月23日（土）①10:00～ ②14:00～（115分）各回30分前より開場。
- 会場：松江テルサ7階ドームシアター（自由席・入替制）
- 料金：前売券 / 1,000円（松江テルサ2階事務局、及びインターネットにて上映日前日まで販売）
当日券 / 1,200円（当日7F会場前にて30分前から販売）
小中高生 / 500円（当日・前売共通）

※チケットの返金はいたしかねます。

※駐車場の割引はございません。テルサ地下駐車場あるいは、近隣駐車場をご利用ください。

前売券
QRコード

